



2020年11月13日

各位

会社名 株式会社 じげん  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 CEO 平尾 丈  
(コード番号: 3679 東証第1部)  
問合せ先 執行役員 波多野 佐知子  
(TEL. 03-6432-0352)

## 減損損失等の計上及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第2四半期の連結決算（国際会計基準、以下IFRSという）及び個別決算（日本基準）において、それぞれ減損損失及び関係会社株式評価損を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、2021年3月期の期末配当予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 内容

##### (1) 連結決算（IFRS）における影響

当社は、当第2四半期連結累計期間において、保守的な前提のもと、IFRSに基づく減損テストを実施した結果、総額3,986百万円の減損損失をその他の費用に計上いたしております。主な内訳は、株式会社アップルワールド（以下、APWという）に係る減損損失1,931百万円、株式会社三光アド（以下、三光アドという）に係るのれんの減損損失1,580百万円、その他求人領域の無形資産に係る減損損失476百万円であります。

当該損失計上につきましては、新型コロナウイルス感染症影響の長期化に伴う海外渡航需要の低迷や中長期的視点における紙メディアの市場規模縮小等の事業環境の変化が主な要因であります。

今後に関しては、国内旅行需要の緩やかな回復等を踏まえて、個人ユーザー向け航空券比較メディアである『TRAVELIST』を中心とした、国内事業への経営資源の優先的配分と費用構造の最適化を進めつつ、海外渡航需要が回復した場合は、速やかに収益獲得できるよう努めて参ります。三光アドに関しては、リアル媒体からインターネット媒体への顧客関心の移行が加速している状況を鑑み、今後はインターネット媒体からの売上収益の更なる拡大を図って参ります。

詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）」もご参照ください。

##### (2) 個別決算（日本基準）における影響

上述の背景を踏まえ、APW及び三光アドの株式に関して、回収可能性を検討した結果、関係会社株式評価損として、2,929百万円を計上することといたしました。なお、当該関係会社株式評価損は、連結決算上では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

#### 2. 今後の見通し

2021年3月期の連結業績予想に関して、8月12日公表の「2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）」にて開示している売上収益及びEBITDAの予想値に修正はございません。また、一部の予想数値につきましては、合理的な数値の算出が困難であるため、開示を見合わせております。今後公表すべき事項が生じた場合は、速やかに公表してまいります。

なお、上述の損失に伴う将来キャッシュフローへの影響はございません。

### 3. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年8月12日公表)	円 銭 0.00	円 銭 未定	円 銭 未定
今回修正予想	0.00	3.00	3.00
当期実績	0.00		
前期実績 (2020年3月期)	0.00	3.00	3.00

### 4. 配当予想修正の理由

当社は、剰余金の配当に関して、業績の動向、財務状況ならびに今後の事業展開等を総合的に勘案し決定することを基本方針としております。

2020年8月12日に公表した「2021年3月期第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）」において、新型コロナウイルス感染症の影響見通しが不透明のため、2021年3月期の期末配当予想を未定としておりましたが、株主への利益還元の観点から、当期の期末配当金を1株につき3円といたしました。

今後とも自己株式の取得や配当金等を通じた株主還元を経営の重要課題と認識し、資本効率性の観点から機動的な資本政策を遂行することで、株主価値の更なる向上に努めてまいります。

以上